

ご あ い さ つ

平成28年度市政年報を発行するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

平成22年3月に新生栃木市が誕生してから、早いもので、8年目を迎えることとなりました。「新しい栃木市」のまちづくりの成果が、徐々にではありますが、形となって現れてきております。

平成28年度を振り返りますと、地域医療の拠点となる「とちぎメディカルセンターしもつが」のオープン、移住者向け専門誌の「住みたい田舎ベストランキング」において若者世代・子育て世代の両部門で全国1位を獲得、また、「ゆるキャラグランプリ2016」において自己最高の全国4位入賞など、数年間にわたる栃木市のまちづくりへの取り組みが、実を結んだ年でありました。

平成29年度は、総合計画の5年目となり、前期基本計画の仕上げの年となるとともに、次の5年間に向けた、後期基本計画を策定する節目の年となりますことから、栃木市の将来を見据えつつ、次の事業に積極的に取り組んでまいります。

まず、地方都市リノベーション事業では、旧市役所本庁舎跡地周辺に、歴史・文化・芸術の拠点となる（仮称）文化芸術館、文学館の整備を行うとともに、旧栃木中央小跡地に、市民活動や生涯学習活動を支援するための（仮称）地域交流センターの整備を行います。中心市街地にこれらの都市機能を集約することで、本市の魅力や活力、賑わいを創り出し、持続可能な「新しい栃木市」のまちづくりを進めてまいります。

また、子育て世帯をめぐる環境の変化などにより、子どもを安心・安全に遊ばせることが難しい状況も見受けられますことから、屋内型の「子どもの遊び場」の整備計画を進めてまいります。

引き続き、活気にあふれ、市民の皆様が夢と希望を持てる栃木市をつくるため、全力を尽くして参りますので、市議会をはじめ、市民の皆様の温かいご理解と更なるご支援を賜りますよう、心からお願いを申し上げまして、平成28年度市政年報の発行に当たってのごあいさつとさせていただきます。

平成29年8月

栃木市長 鈴木俊美

